

泉北ニュータウンの緑環境の変化 と居住者の評価に関する研究



緑地環境計画工学

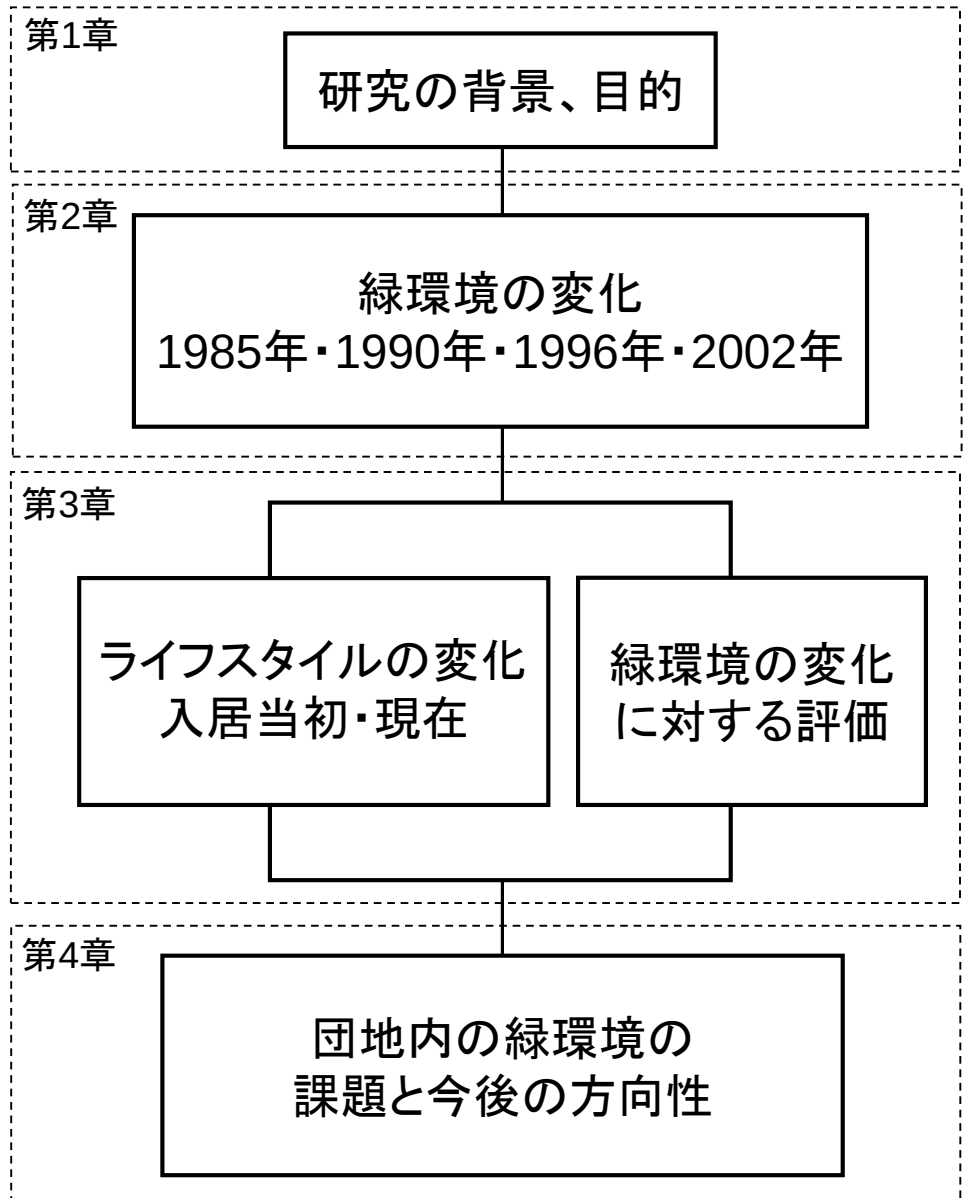
西川 文香

研究背景

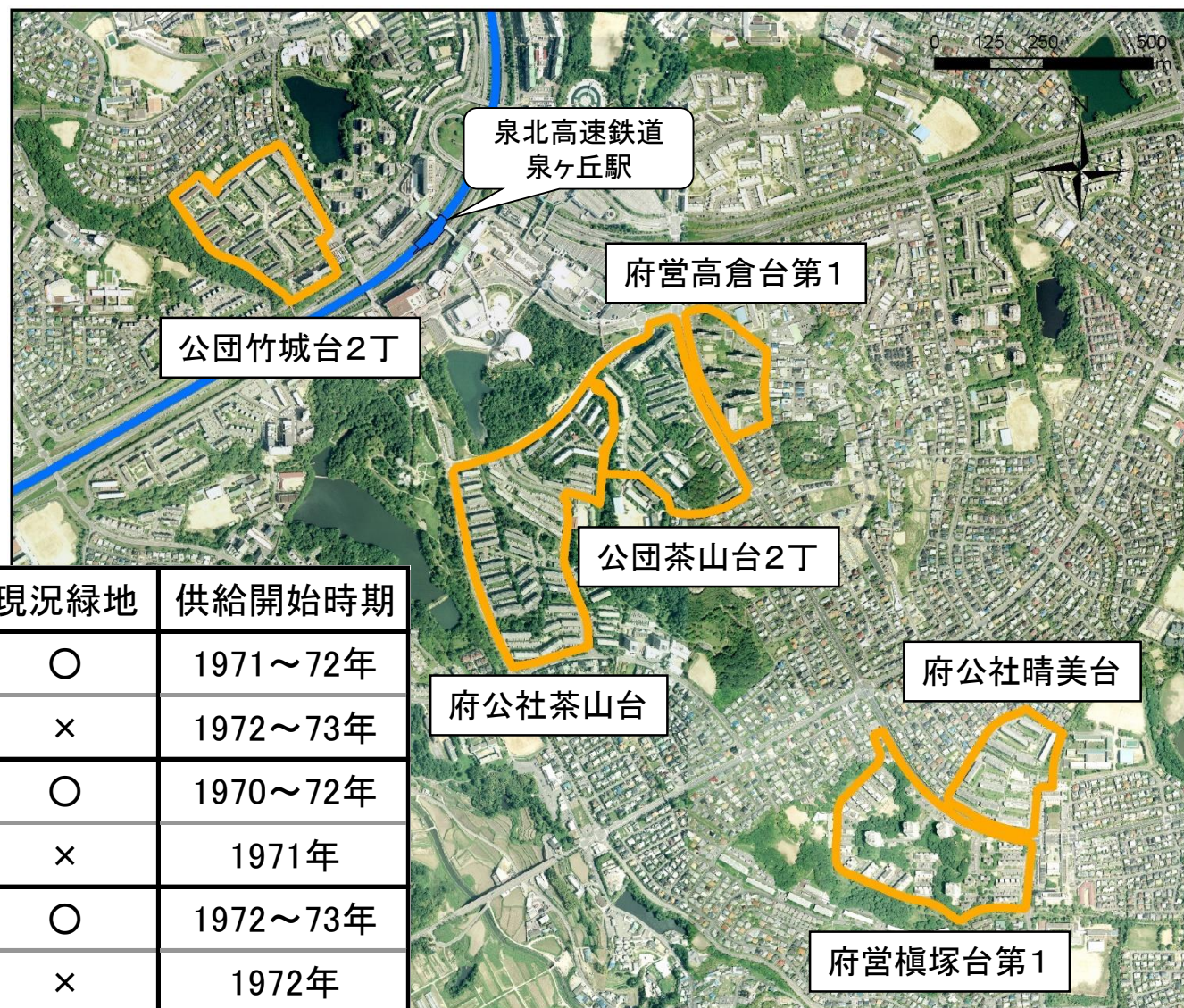
泉北ニュータウン内の集合住宅団地は建設後、約40年が経過し、団地内の緑環境とともに居住者のライフスタイルも大きく変化している。

研究目的

管理主体の違いと現況緑地の有無から条件の異なる集合住宅団地を抽出し、建設後の緑環境と居住者のライフスタイルの変化とともに緑環境に対する居住者の評価を明らかにすることによって、団地内の緑環境の課題と今後の方向性を探った。



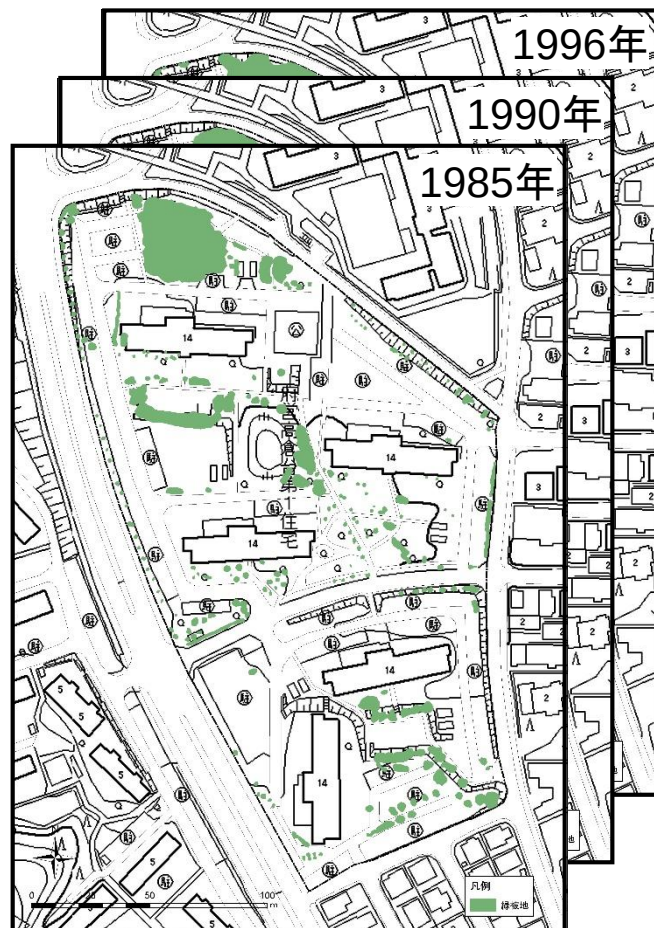
対象団地設定



	名称	現況緑地	供給開始時期
公団	茶山台2丁	○	1971～72年
	竹城台2丁	×	1972～73年
府公社	茶山台	○	1970～72年
	晴美台	×	1971年
府営	榎塚台第1	○	1972～73年
	高倉台第1	×	1972年

第2章 緑環境の変化の調査方法

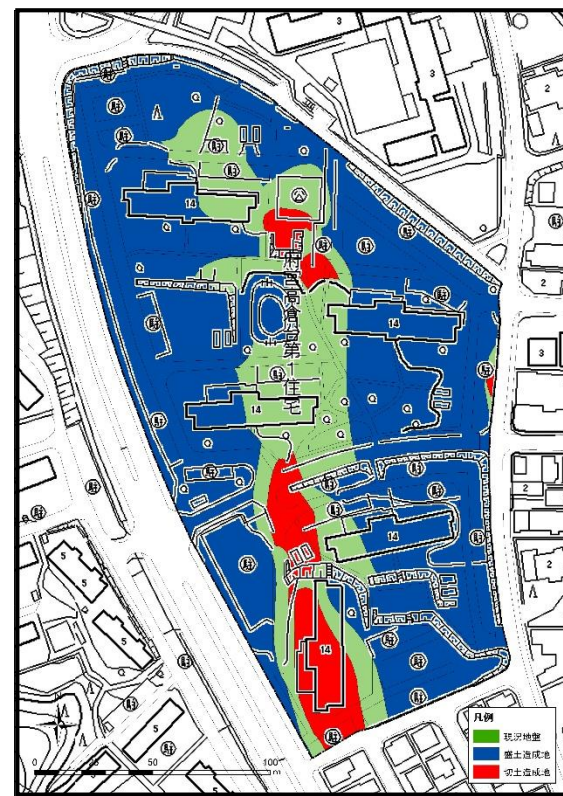
緑被地分布図



2002年の緑被地分布図



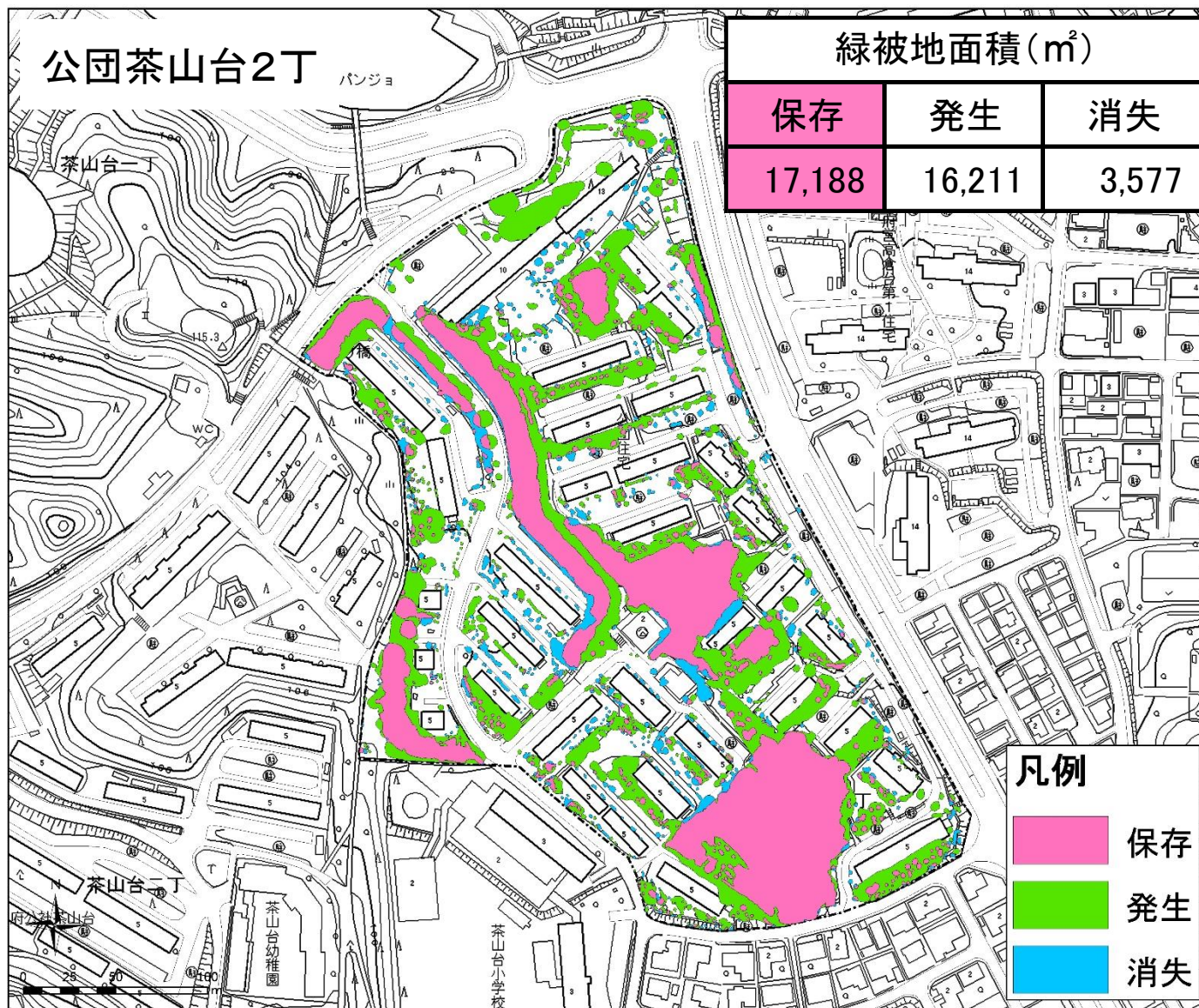
造成条件図



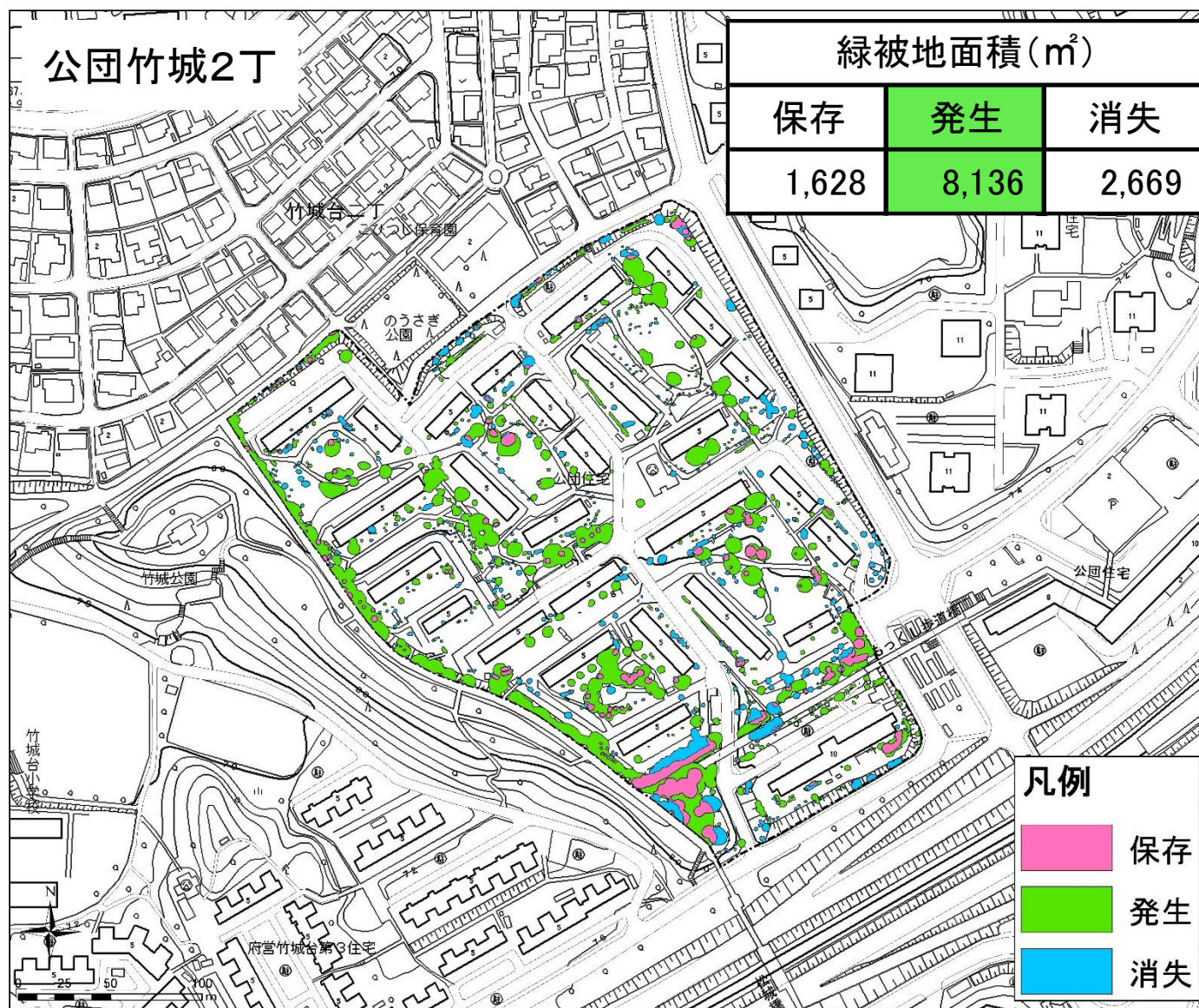
1985-2002年の緑被地変遷図

2002年の造成別緑被地分布図

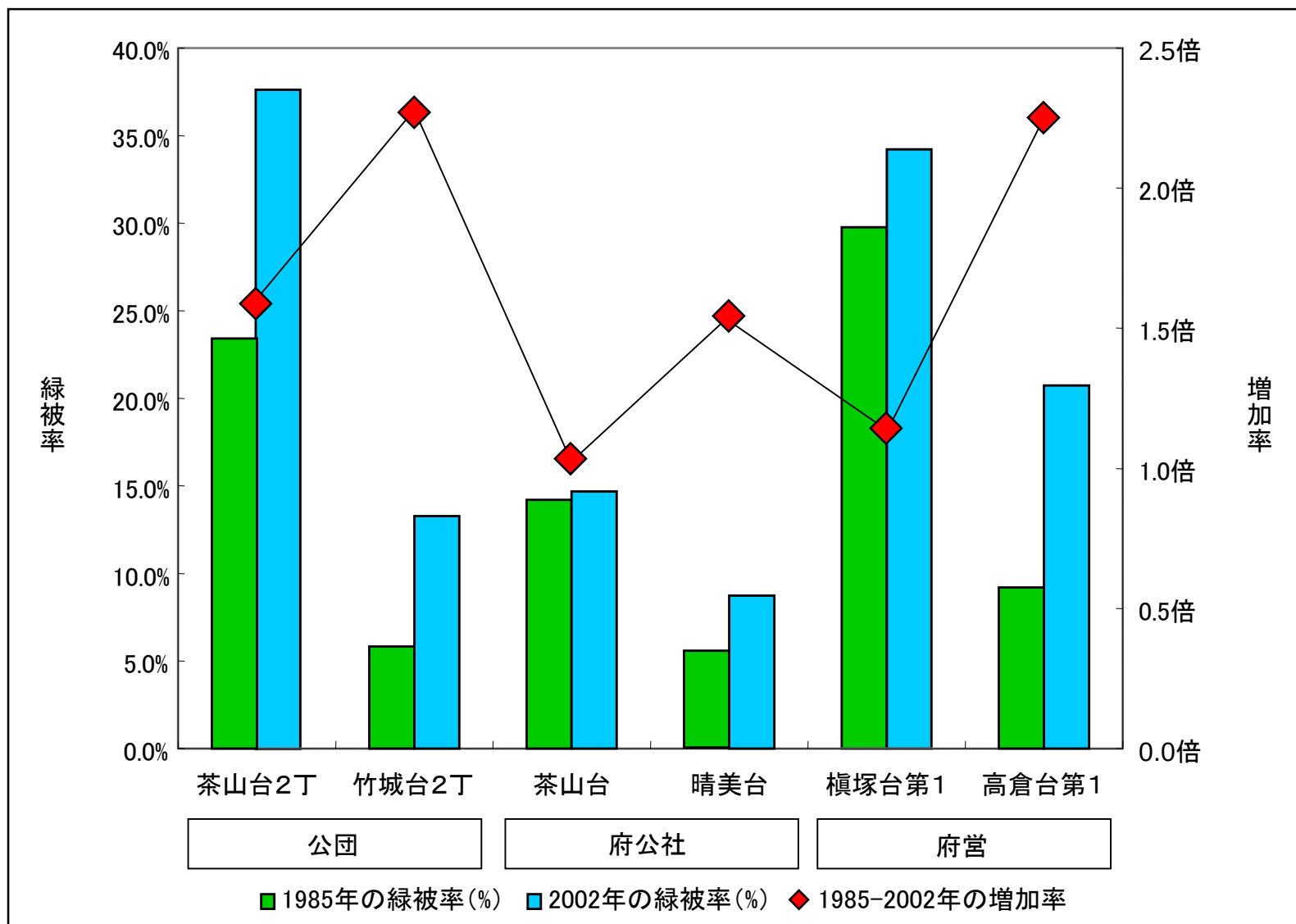
緑環境の変化[現況緑地を保有した団地]



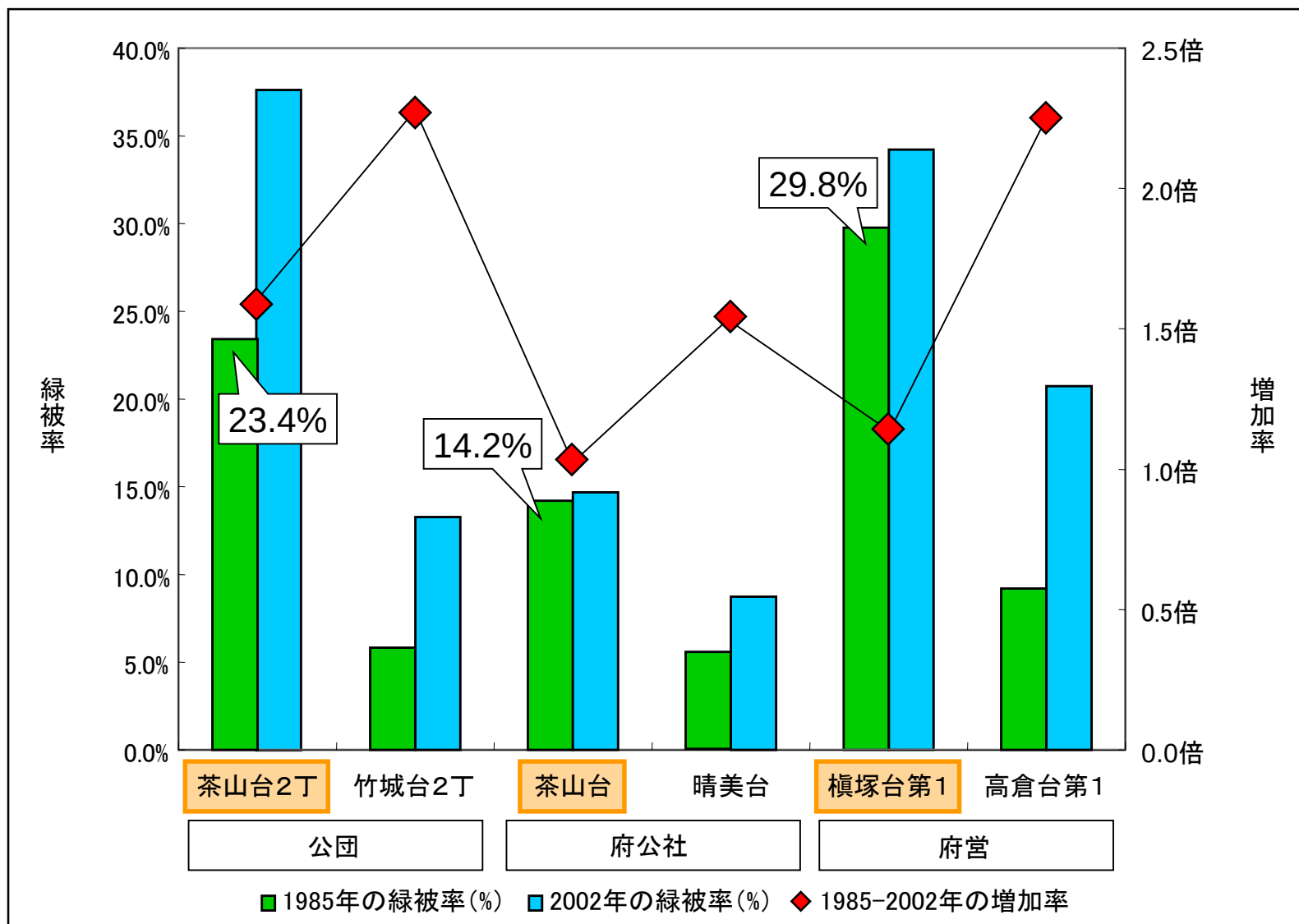
緑環境の変化[現況緑地を保有しない団地]



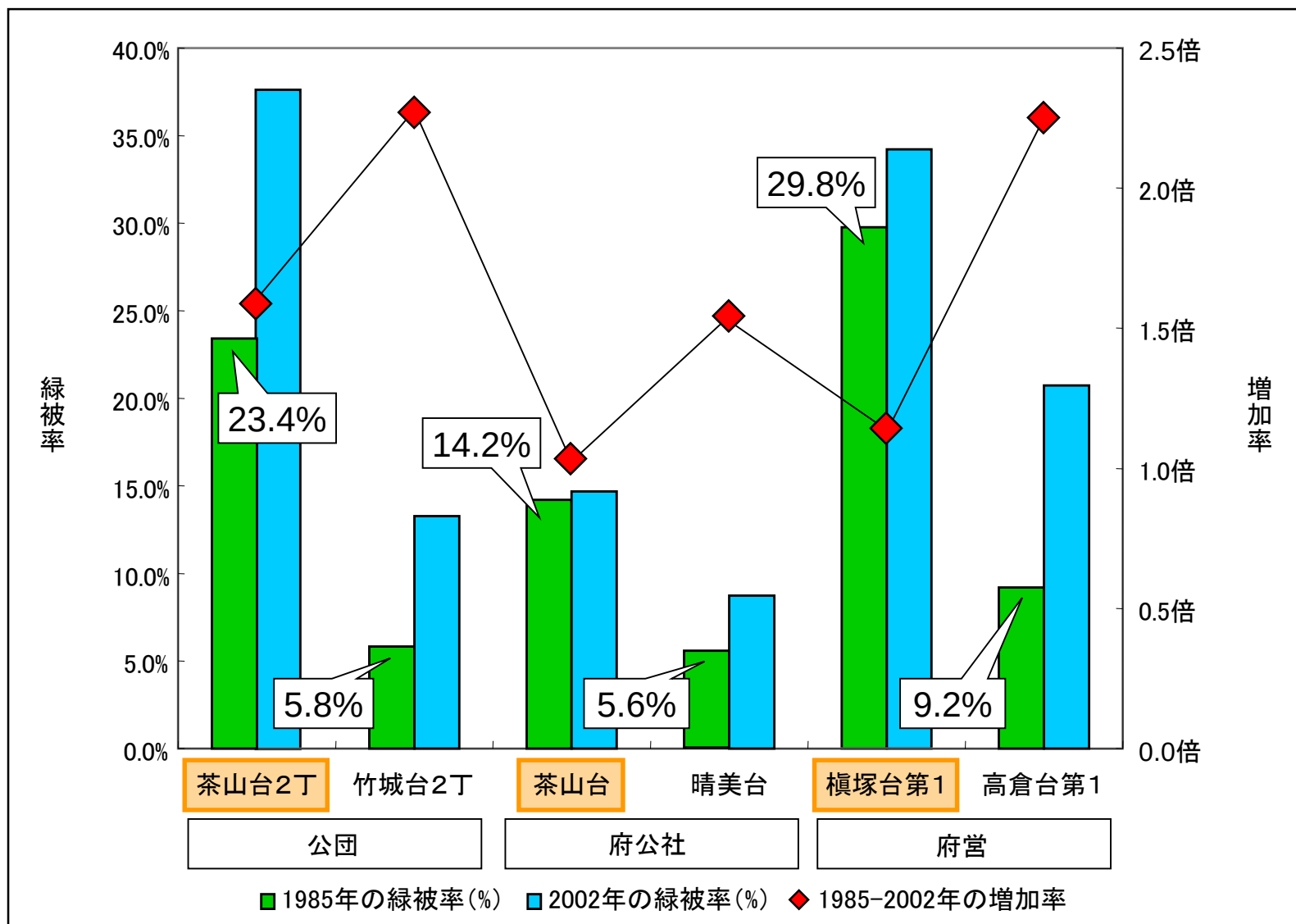
緑環境の変化



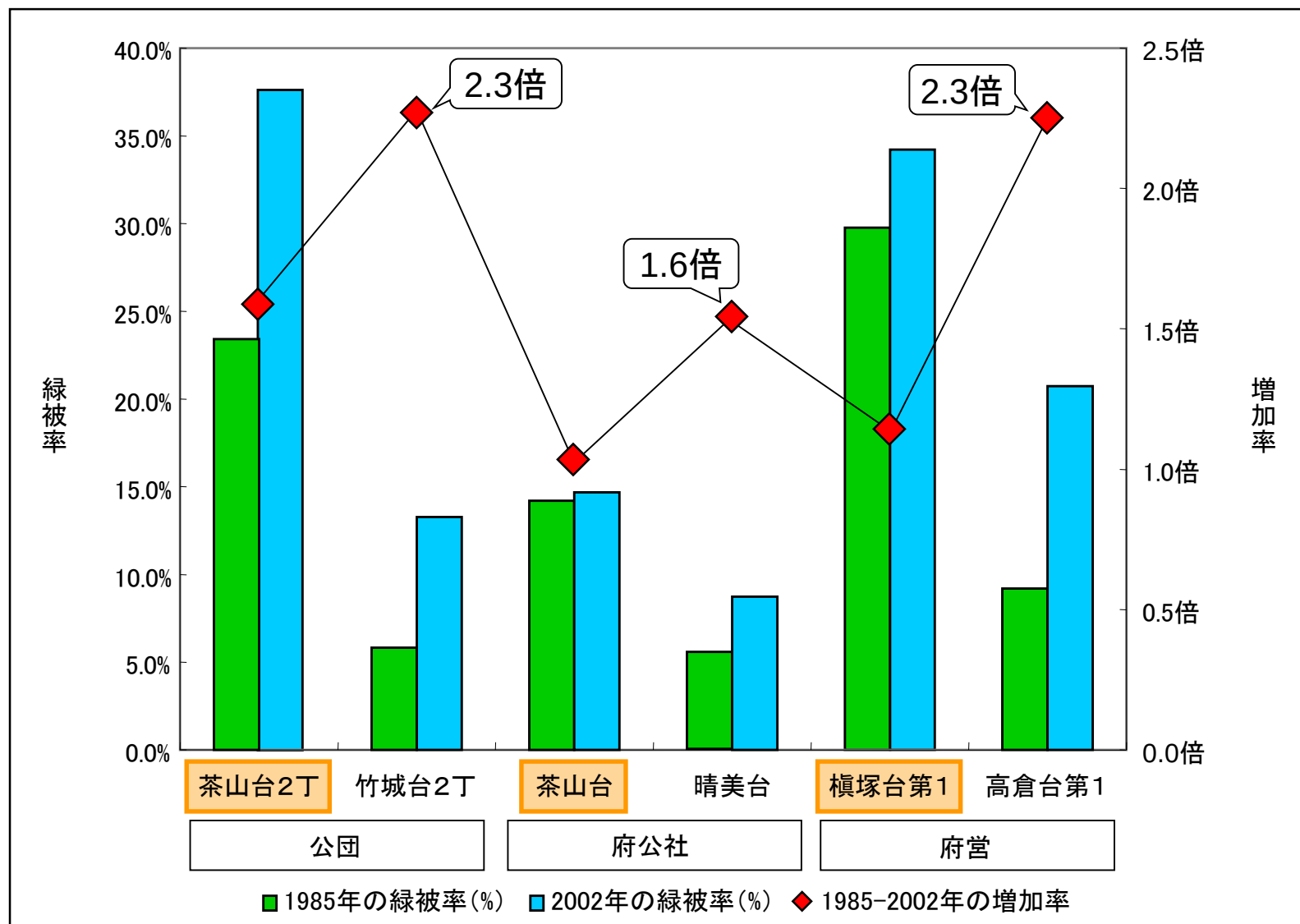
緑環境の変化



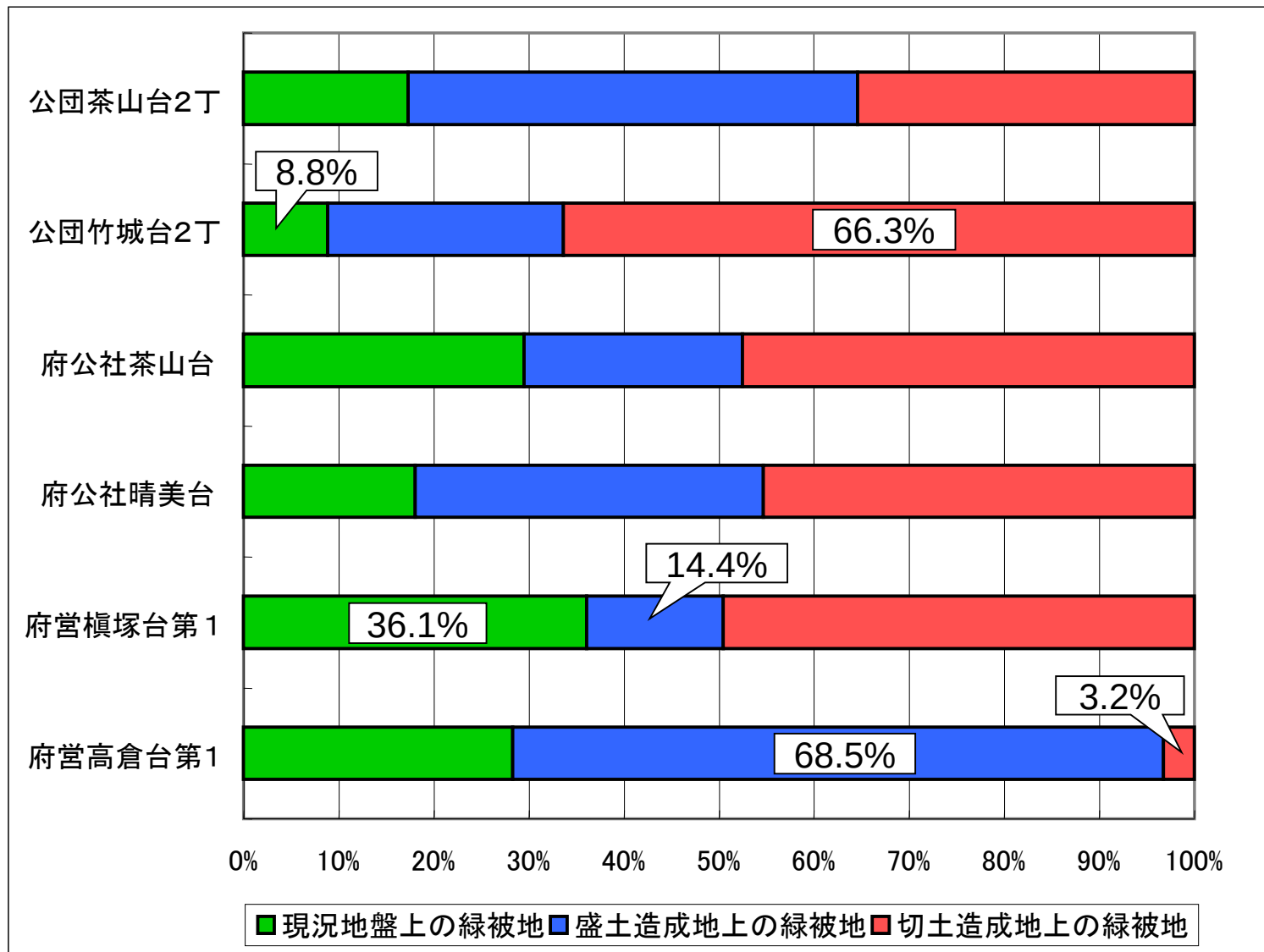
緑環境の変化



緑環境の変化



造成条件別にみた緑環境



緑環境の変化のまとめ

□現況緑地を保有した団地:

当初の高い緑被率が維持

現況緑地を保有しない団地:

緑被率が大幅に増加

→建設後約40年が経過した現状では
豊かな緑量

□造成条件に関わらず緑が成長

第3章 アンケート調査方法

調査方法

対象団地の居住者に均等に行き渡るように、各戸に投函する方法で配布。回収方法は、郵便によって返送してもらう郵送留置方式を採用。

配布票数 2400部

有効回収数 316部

有効回収率 13.2%

	名称	配布数	有効回収数	有効回収率
公団	茶山台2丁	500	70	14.0%
	竹城台2丁	300	34	11.3%
府公社	茶山台	500	90	18.0%
	晴美台	300	38	12.7%
府営	槇塚台第1	500	52	10.4%
	高倉台第1	300	32	10.7%
計		2,400	316	13.2%

調査内容

□ライフスタイルの変化

- ・年齢
- ・居住開始時期
- ・家族構成
- ・職業
- ・屋外行動生活時間

□緑環境の変化に対する評価

緑環境に対する評価：

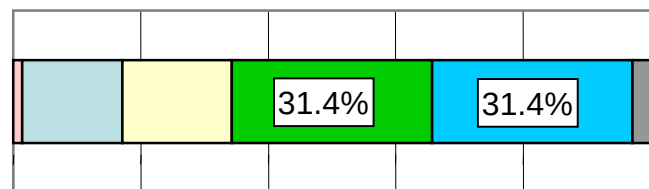
- ・緑等の自然環境の変化
- ・目撃頻度の高まった野生生物

団地全体に対する評価：

- ・雰囲気やイメージの変化

ライフスタイルの変化[属性]

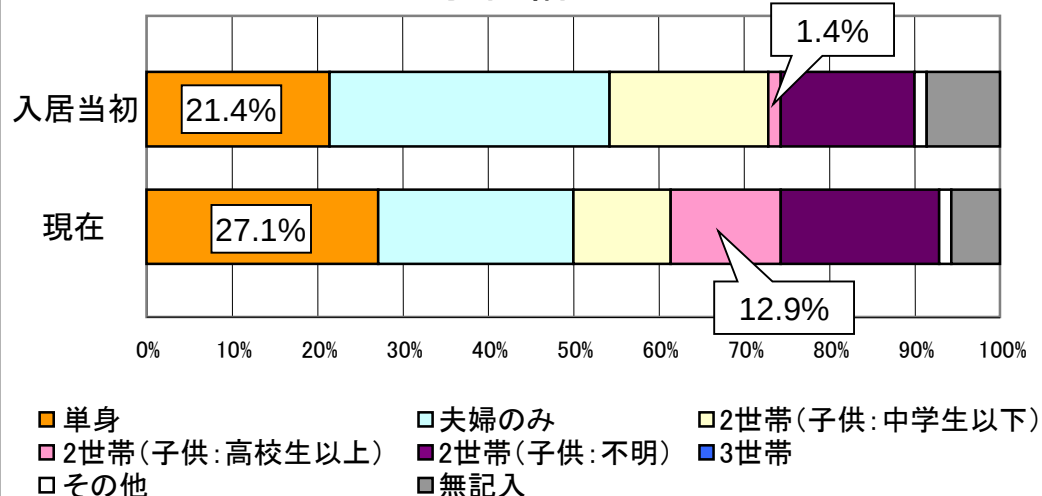
年齢



0% 20% 40% 60% 80% 100%

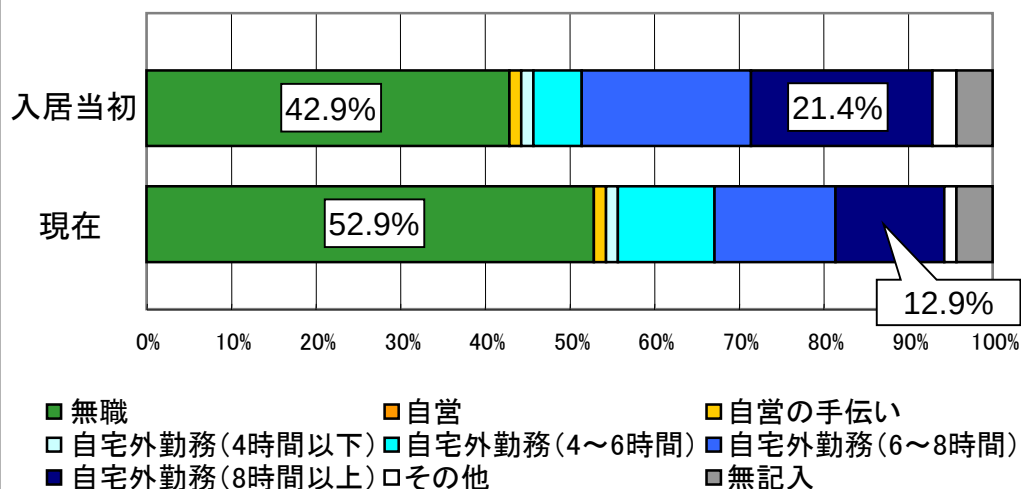
■ 20歳未満 ■ 20～35歳 ■ 36～50歳
 ■ 51～65歳 ■ 66歳以上 ■ 無記入

家族構成



■ 単身 ■ 夫婦のみ ■ 2世帯(子供:中学生以下)
 ■ 2世帯(子供:高校生以上) ■ 2世帯(子供:不明) ■ 3世帯
 ■ その他 ■ 無記入

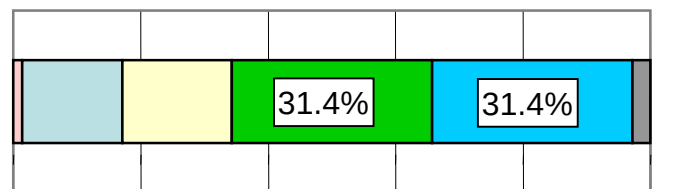
職業



■ 無職 ■ 自宅外勤務(4時間以下) ■ 自宅外勤務(4～6時間)
 ■ 自宅外勤務(6～8時間) ■ 自宅外勤務(8時間以上) ■ その他
 ■ 無記入

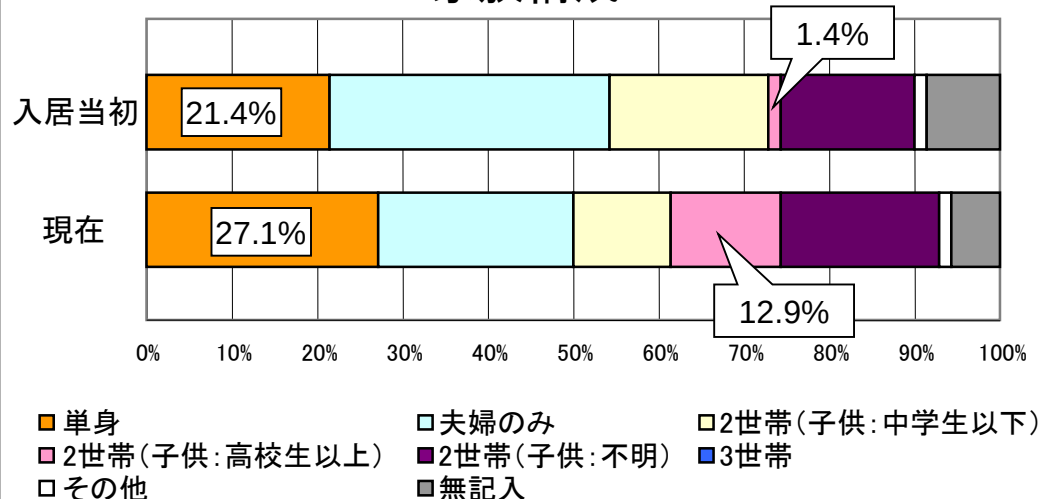
ライフスタイルの変化[属性]

年齢



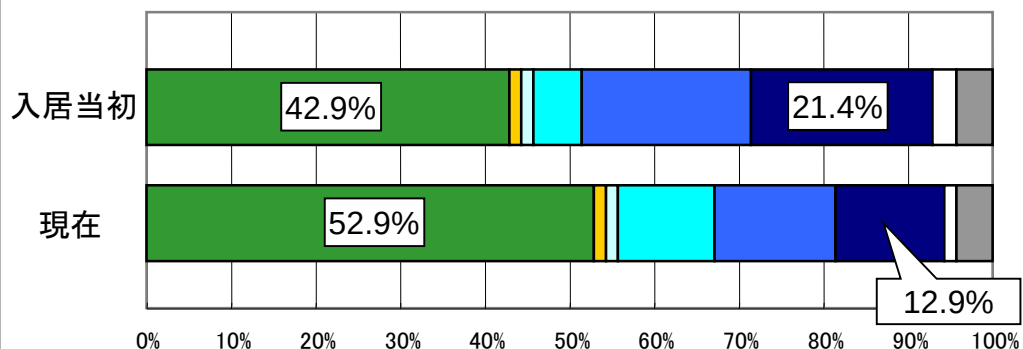
20歳未満 20～35歳 36～50歳
 51～65歳 66歳以上 無記入

家族構成



単身 夫婦のみ 2世帯(子供:中学生以下)
 2世帯(子供:高校生以上) 2世帯(子供:不明) 3世帯
 その他 無記入

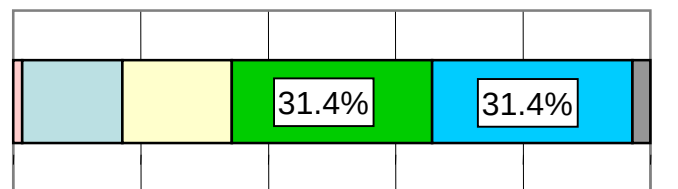
職業



無職 自営 自営の手伝い
 自宅外勤務(4時間以下) 自宅外勤務(4～6時間) 自宅外勤務(6～8時間)
 自宅外勤務(8時間以上) その他 無記入

ライフスタイルの変化[属性]

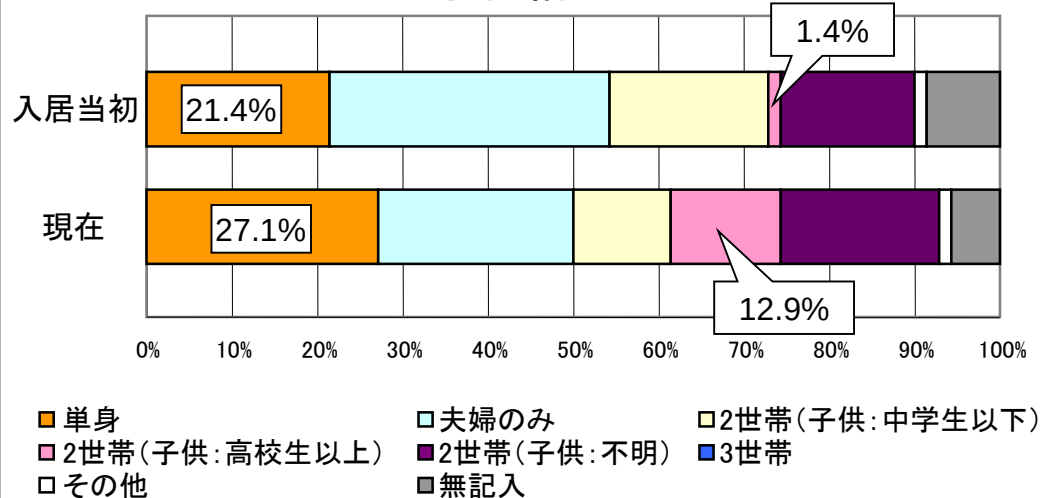
年齢



0% 20% 40% 60% 80% 100%

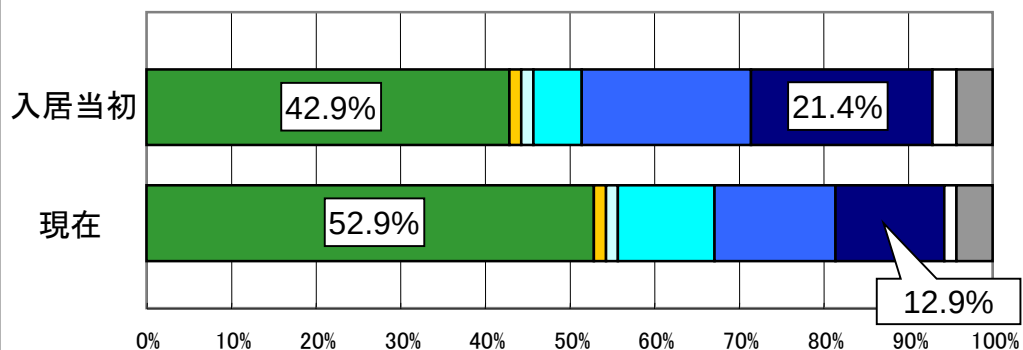
■ 20歳未満 ■ 20～35歳 ■ 36～50歳
 ■ 51～65歳 ■ 66歳以上 ■ 無記入

家族構成



■ 単身 ■ 夫婦のみ ■ 2世帯(子供:中学生以下)
 ■ 2世帯(子供:高校生以上) ■ 2世帯(子供:不明) ■ 3世帯
 ■ その他 ■ 無記入

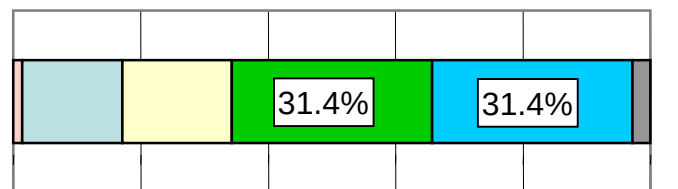
職業



■ 無職 ■ 自宅外勤務(4時間以下) ■ 自宅外勤務(4～6時間) ■ 自宅外勤務(6～8時間)
 ■ 自宅外勤務(8時間以上) ■ その他 ■ 無記入

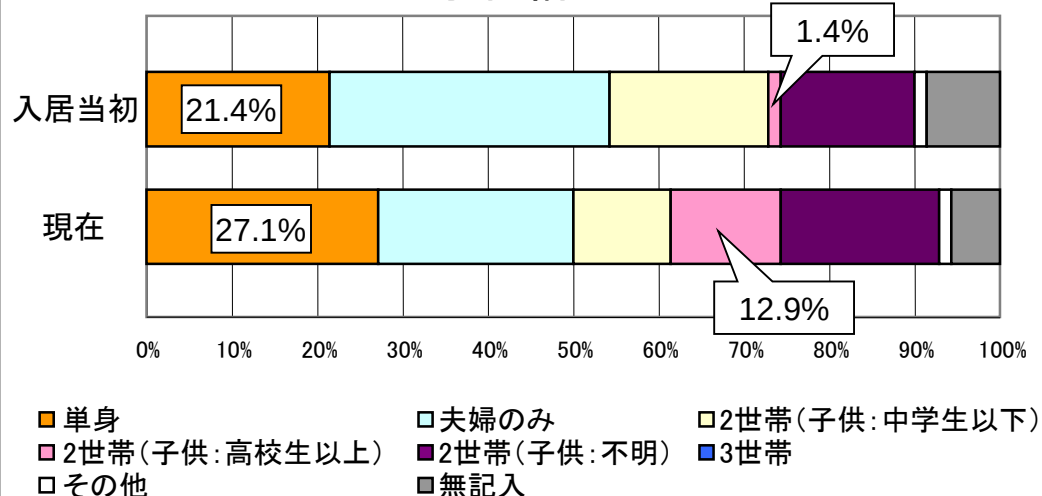
ライフスタイルの変化[属性]

年齢

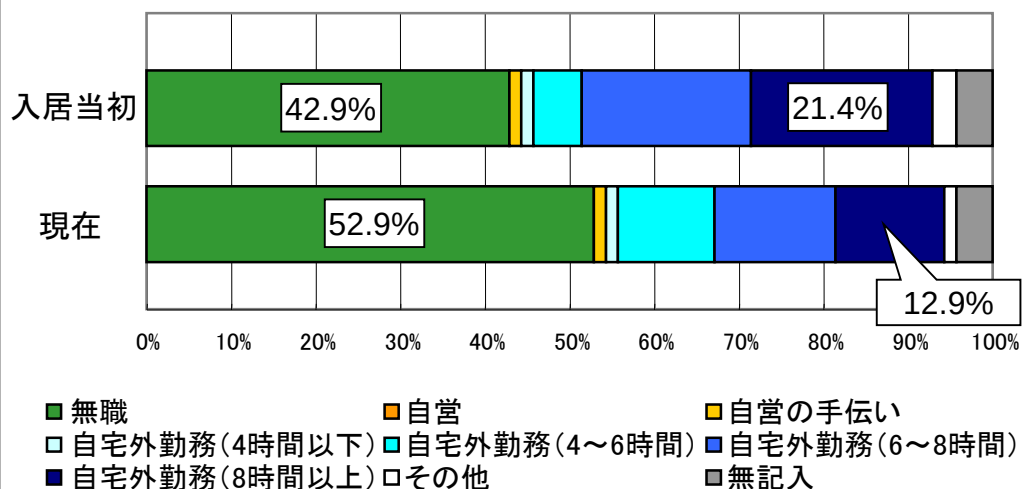


■ 20歳未満 ■ 20～35歳 ■ 36～50歳
 ■ 51～65歳 ■ 66歳以上 ■ 無記入

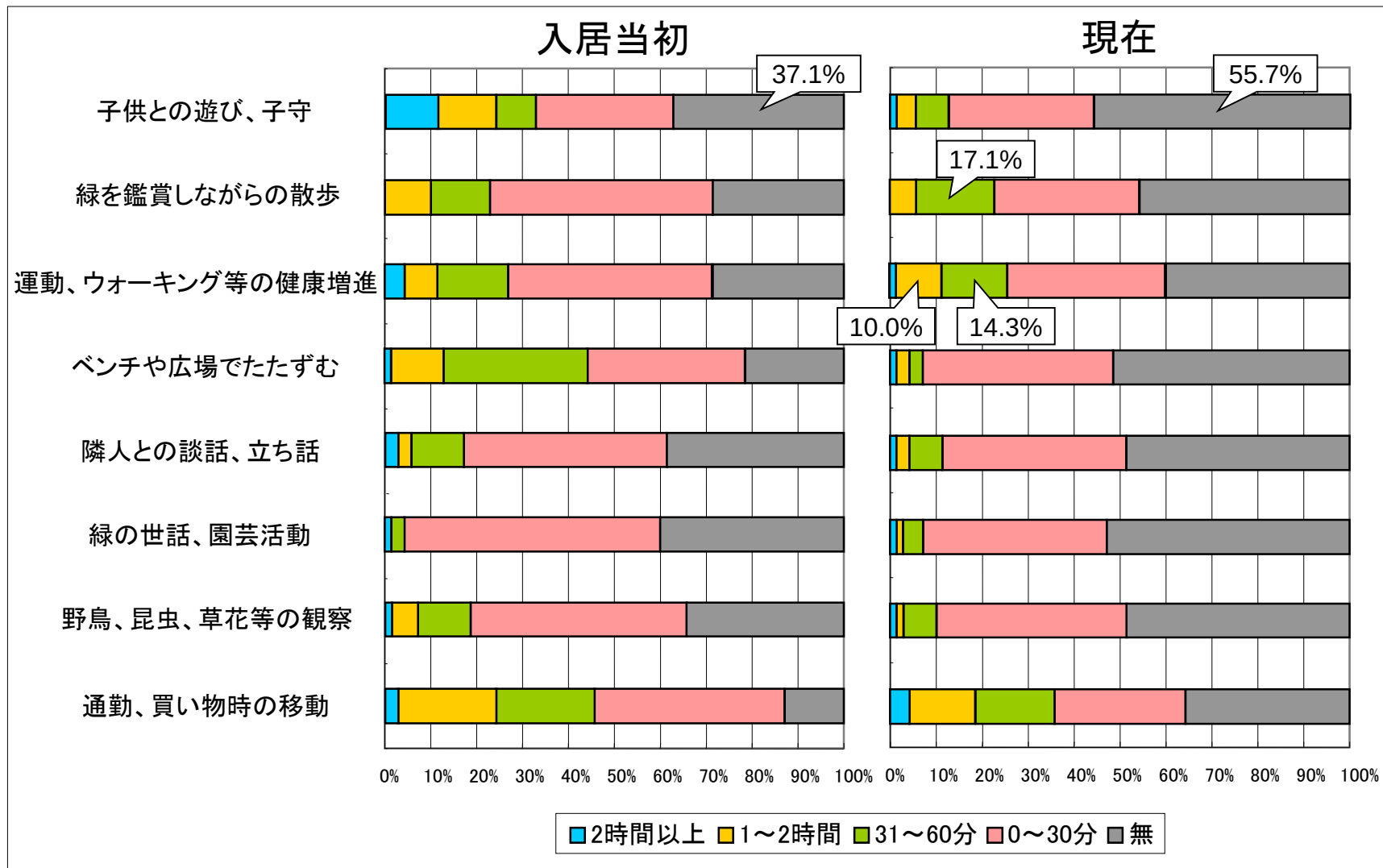
家族構成



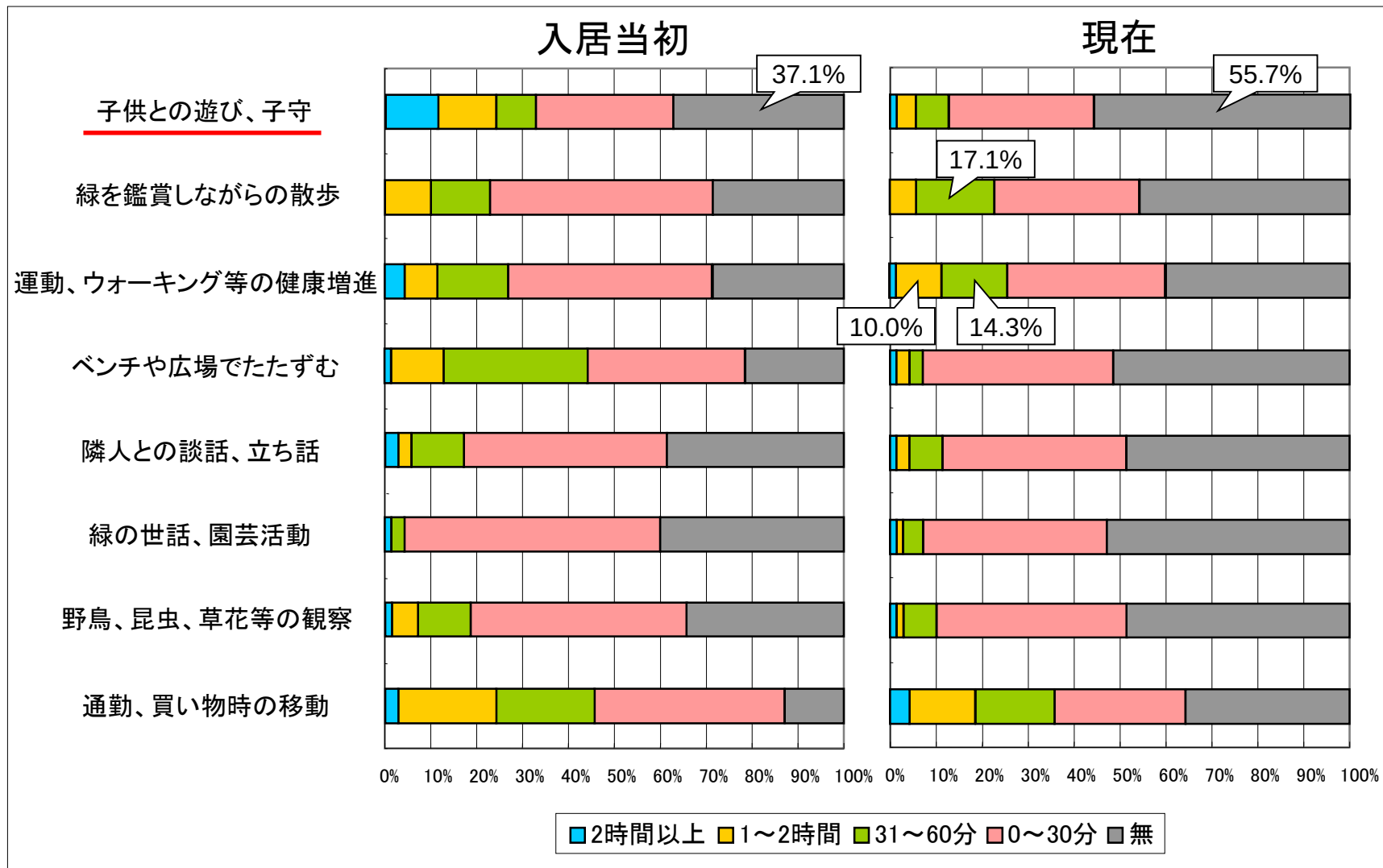
職業



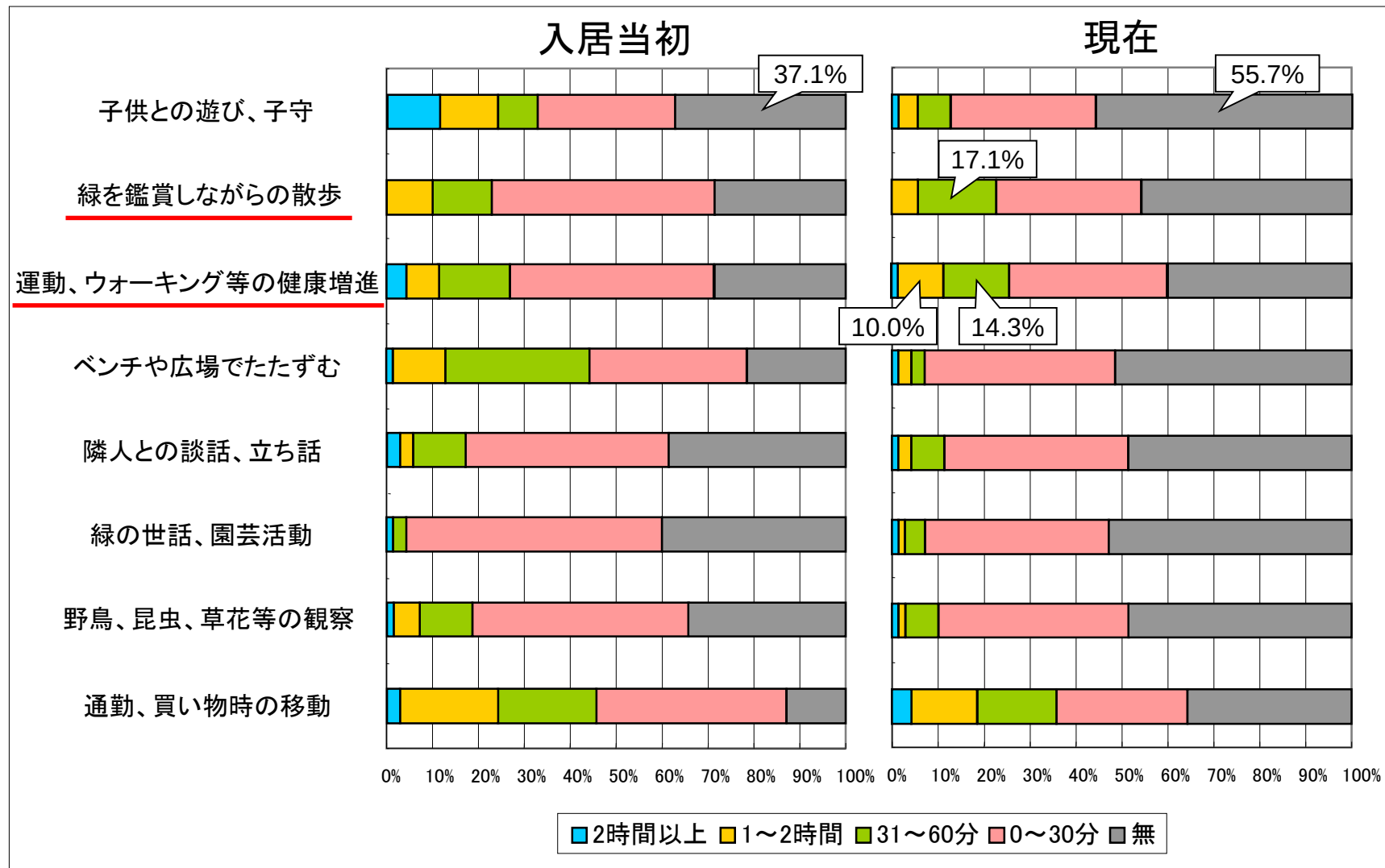
ライフスタイルの変化[屋外行動生活時間]



ライフスタイルの変化[屋外行動生活時間]

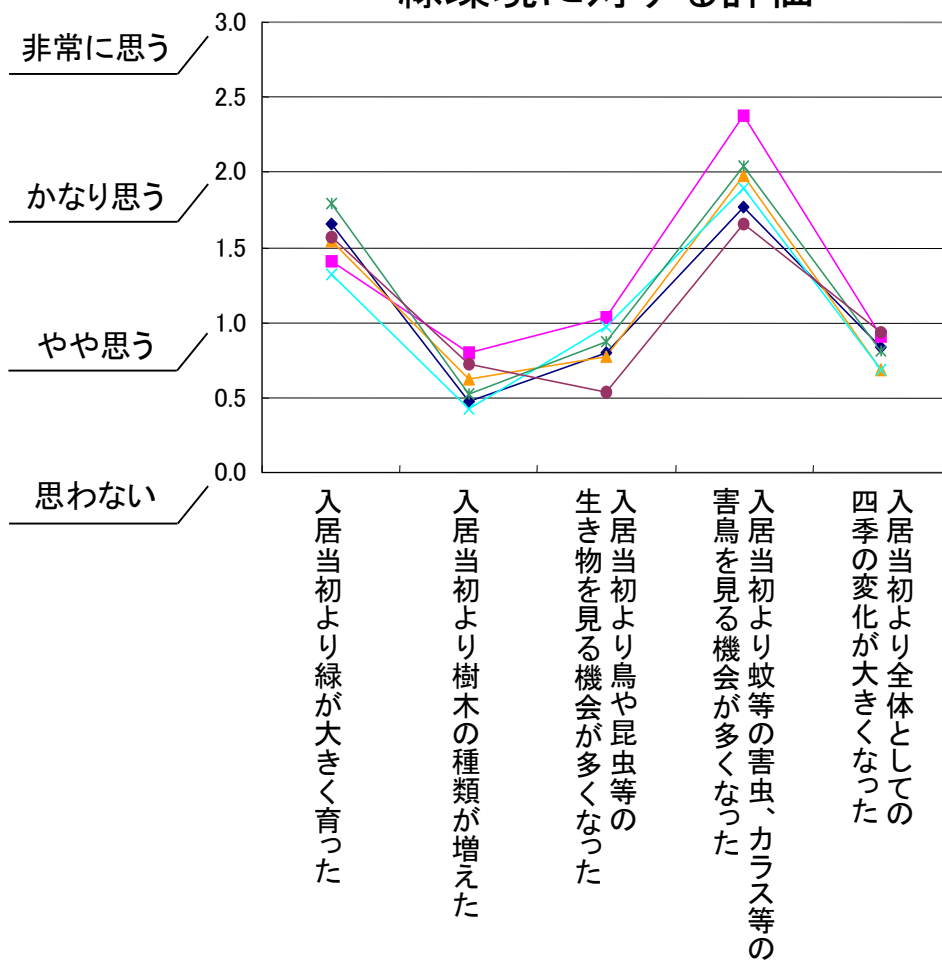


ライフスタイルの変化[屋外行動生活時間]

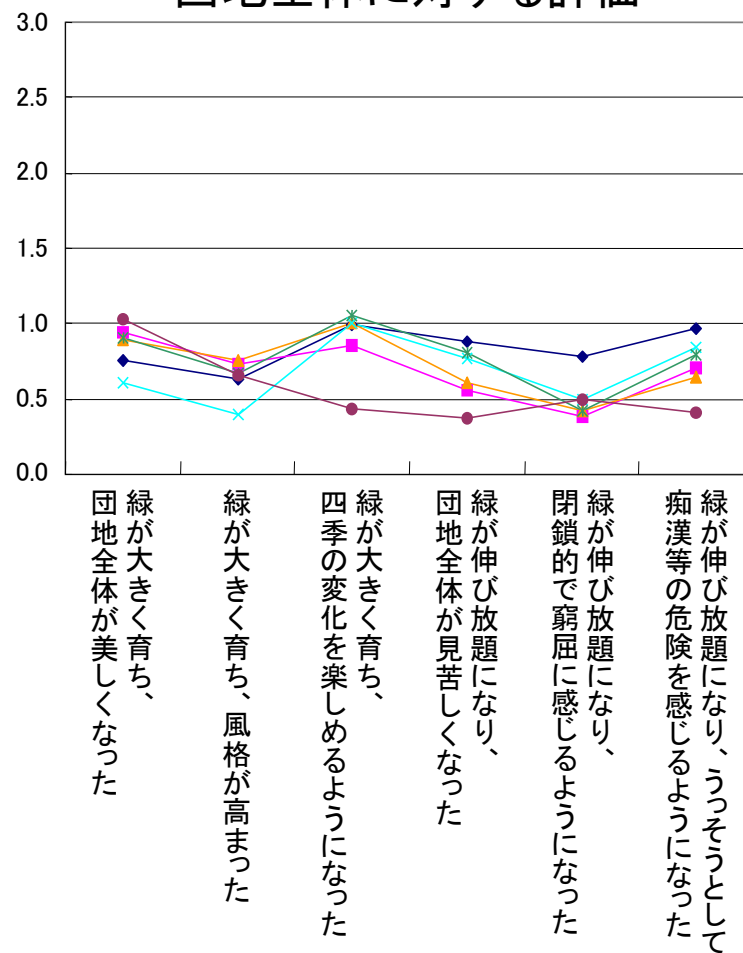


緑環境に対する評価

緑環境に対する評価



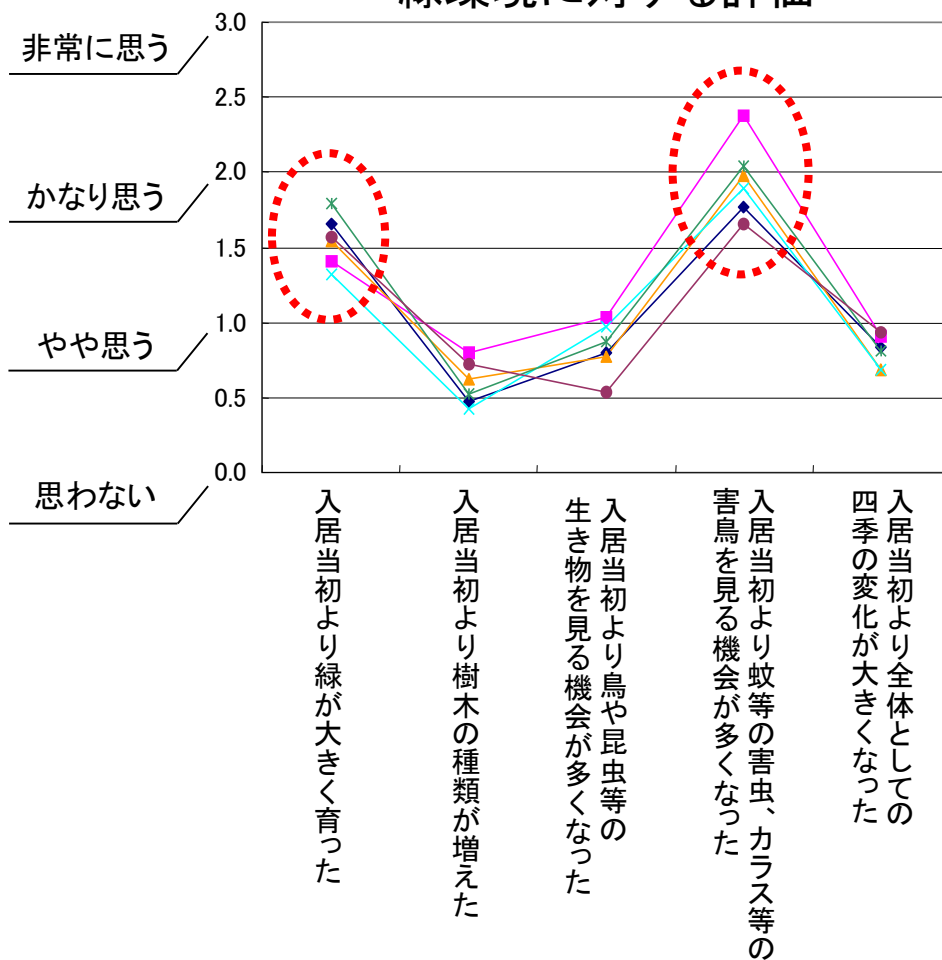
団地全体に対する評価



● 茶山台2丁 ■ 竹城台2丁 ▲ 茶山台 × 晴美台 * 榎塚台第1 ● 高倉台第1

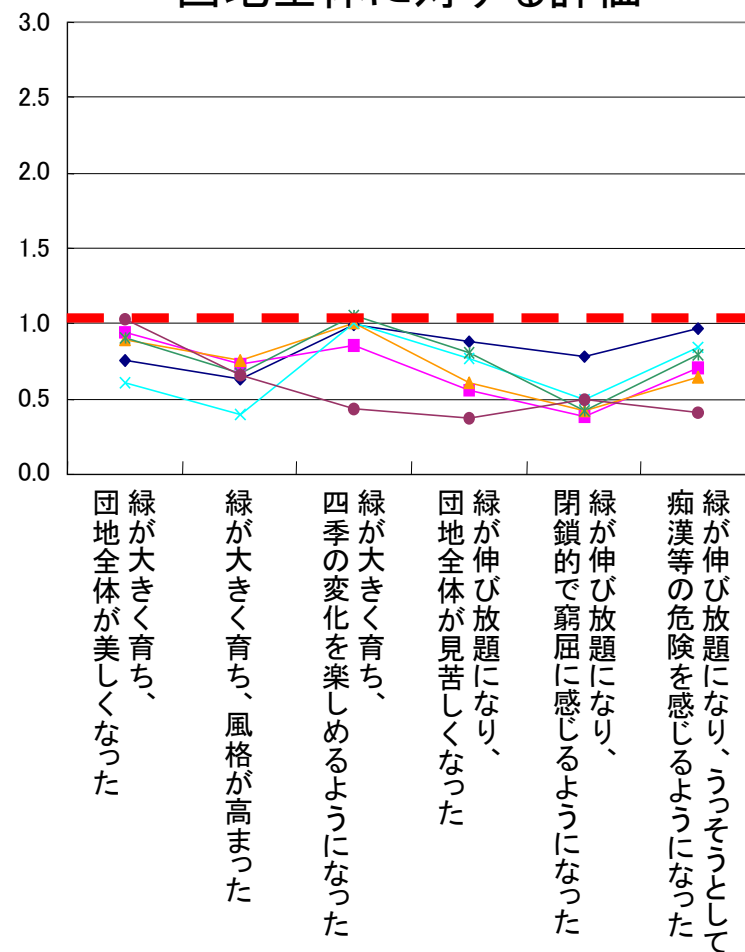
緑環境に対する評価

緑環境に対する評価



茶山台2丁 竹城台2丁 茶山台 晴美台 榎塚台第1 高倉台第1

団地全体に対する評価



まとめ

□団地内の緑環境が大きく成長し、緑環境の量的側面は評価されているものの、質的側面が評価されていないこと

□居住者のライフスタイルが屋内型に移行している中で、緑との接触および健康面に関してのみ屋外型の生活行動が行われていること

⇒団地内の緑環境は今後、高齢化に伴う健康志向を受け留めるための質的転換や屋外行動を活性化させるきっかけづくりが重要となると考えられる。